

令和6年度 シラバス

| | | | | |
|--|---|-----|-----|-------------|
| 教科名 | 地歴公民 | | 教科書 | 日本史探究（東京書籍） |
| 科目名 | 日本史探究 | 必修 | 副教材 | 要点マスター日本史探究 |
| 履修学年 | 3 学年 | 単位数 | | 3 |
| 科目の目標 <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> | | | | |
| 観点 | 評価の観点の趣旨 | | | |
| 知識技能 | 歴史総合で培った知識・技能を前提に「時代を通観する問い」・「仮説」をたて、資料を活用しつつ調べ学習を行い、「問い」と「仮説」について検証する。 | | | |
| 思考判断表現 | 資料を活用し、各時代の歴史の展開について、主題を設定し、事象の意味や意義、関係性などを考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史に画期などを根拠を示して表現する。 | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、歴史的経緯をふまえて多面的・多角的に考察、構想し、その結果を表現することとしている。 | | | |
| 学習方法 <p>(1) ワークノートを定期的に提出して下さい。</p> <p>(2) 他教科・他科目と連携して、アクティブラーニング型の学習を行います。主体的に参加して下さい。</p> <p>(3) iPad・パソコンを活用しての調べ学習を行います。</p> <p>(4) レポート・小論文の課題を課します。期日までに提出して下さい。</p> | | | | |

内容のまとめりごとの評価規準

科目：日本史探究

| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
|-------|-----------------|---|--|---|-------|
| 1 | 先史・古代の日本と東アジア | <ul style="list-style-type: none"> ・旧石器時代の日本について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。 ・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性をふまえ、資料を通して読み取れる情報から、先史・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ・「東アジア情勢の変化は、倭国の政治や文化にどのような影響をおよぼしたのだろうか」などの課題について、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し、その結果を表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもって、古代国家の特色について明らかにしようとしている。 ・第1編における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 先史社会の生活と文化 | 小テスト | 小テスト | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 | 4 時間 |
| (2) | 歴史資料と先史・古代の展望 | 小テスト | 小テスト | | 4 時間 |
| (3) | 律令国家の形成と古代文化の展開 | | グループワーク | | 4 時間 |
| (4) | 摂関政治と貴族文化 | 調べ学習 | | | 5 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 1 学期期末考査 | 1 学期期末考査 | | 2 時間 |
| 19 時間 | | | | | |
| 2 | 中世の日本と世界 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 ・諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の特性をふまえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ・武家権力による日本社会の変容に関する資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・第2編における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 中世社会の成立 | | ペアワーク | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 レポート | 4 時間 |
| (2) | 歴史資料と中世の展望 | 調べ学習 | | | 4 時間 |
| (3) | 武家政権の成立と朝廷 | 小テスト | 小テスト | | 4 時間 |
| (4) | 武家支配の広がりや国際交流 | | グループワーク | | 5 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 1 学期期末考査 2 学期中間考査 | 1 学期期末考査 2 学期中間考査 | | 2 時間 |
| 19 時間 | | | | | |
| 3 | 近世の日本と世界 | <ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、中世から近世への時代の転換を理解している。 ・諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の対外関係に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 ・社会・経済のしくみの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 ・第3編における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 |
| (1) | 近世社会の形成 | | ペアワーク | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 | 4 時間 |
| (2) | 歴史資料と近世の展望 | 調べ学習 | | | 4 時間 |
| (3) | 幕藩体制の確立 | 小テスト | | | 4 時間 |
| (4) | 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 | | グループワーク | | 5 時間 |
| (5) | 単元のまとめ | 2 学期中間考査 2 学期期末考査 | 2 学期中間考査 2 学期期末考査 | | 2 時間 |
| 19 時間 | | | | | |
| 4 | 近現代の地域・日本と世界 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。 ・第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解している。 ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業の発達の影響と背景、地域社会における労働や生活の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・冷戦の影響、グローバル化の進展の影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の地域・日本と世界に関わる諸事象について見直しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・第4編における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 | |

| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 | |
|------|------------------|---|---|--|-------|-------|
| (1) | 近代社会の幕開け | | ペアワーク | 振り返りシート 授業プリント ワークノート 他者と協同する姿勢 レポート | 4 時間 | 38 時間 |
| (2) | 歴史資料と近現代の展望 | 調べ学習 | | | 3 時間 | |
| (3) | 近代的制度の導入と新しい国際関係 | | グループワーク | | 4 時間 | |
| (4) | 国民国家と資本主義の成立 | | | | 4 時間 | |
| (5) | 両大戦間期の日本 | | ペアワーク | | 4 時間 | |
| (6) | 第二次世界大戦と日本 | | グループワーク | | 4 時間 | |
| (7) | 占領と改革 | 調べ学習 | | | 4 時間 | |
| (8) | 国際社会への復帰と高度経済成長 | | ペアワーク | | 3 時間 | |
| (9) | アジア情勢の変化と経済大国日本 | | | | 3 時間 | |
| (10) | 新しい国際秩序と日本の課題 | 調べ学習 | グループワーク | | 3 時間 | |
| (11) | 単元のまとめ | 2学期期末考査 学年末考査 | 2学期期末考査 学年末考査 | | 2 時間 | |
| 5 | 現代の日本の課題の探究 | ・先史・古代、中世、近世、近現代の学習をふまえて、現代の日本の課題を理解している。 | ・これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。 | ・先史・古代、中世、近世、近現代の学習を振り返り、自身との関わりをふまえて、持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。 | | |
| 小単元等 | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 授業時間数 | |
| (1) | | 調べ学習 | グループワーク | 他者と協同する姿勢 | 10 時間 | 10 時間 |
| 合計時数 | | | | | 105 | 時間 |